

## 平成26年度「みえの現場・すごいやんかトーク」(名張市)の概要

10月18日(土)に名張市子ども支援センターかがやきで「みえの現場・すごいやんかトーク」を開催しました。

当日は、名張市子ども支援センターかがやきで開催している「サタパパ広場」利用者の皆さん7名に、名張市子ども支援センターかがやきのセンター長を加え、活動内容や課題、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



### 【参加者からの発言】

名張市子ども支援センターかがやきのセンター長から「サタパパ広場」での活動について紹介していただいた後、「サタパパ広場」利用者の皆さんから、自己紹介していただきました。

(「サタパパ広場」での活動内容紹介)

- 「サタパパ広場」は、平成21年5月から、毎月第1土曜日に開催している父親や祖父のための子育て広場であり、市内在住の0歳児から小学生までの子どもと、その父親、祖父やこれから父親になる人を対象としている。
- 「サタパパ広場」では、「作って遊ぼう」や「飛ばして遊ぼう」など、父親や祖父も子育てを楽しむきっかけになるような活動を企画している。

**Q. 「サタパパ広場」で、こういう事業やイベントがよかった、こういう出会いがよかったなどはありませんか(センター長は、評判のよいイベントを教えてください)。**

- 「作って遊ぼう」の七夕飾りのとき、「サタパパ広場」では、道具を全部そろえられるので、親としても気軽に楽しみながら子どもと遊ぶことができる。
- 子どもに作り方を教えてもらいながら、料理の飾りを作ったことがある。子どもと一緒に飾りを作ることなどないので、大変ありがたい。

- 子どもの名前を呼んでもらったとき、ついつい、親が子どもの手を持って上げてしまいがちだが、「サタパパ広場」では、親が手を挙げれば、子どもが真似をするから、まずは自分がやればよいということを教えてもらった。
- 子どもを連れて、生の演奏を聴く機会はほとんどないため、「サタパパ広場」でオーケストラをやっていただけなのはありがたい。
- 平日は仕事から帰ってくるのが遅いため、手遊びなど、限られた時間でも子どもと遊ぶことができる方法を教えてもらえたことがすごくよかった。
- 「サタパパ広場」では、昔からあり、今でも子どもと一緒に遊べるわらべ歌や手遊びを教えてくれるため、参加してよかったと思っている。
- 「サタパパ広場」で知り合った父親同士で、日曜日の過ごし方がわからないなどの悩みを相談できるつながりができたのがよかった。
- 「サタパパ広場」で孫と一緒に、ペットボトルに穴をあけて遊んだが、印象に残っており、今でも風呂場でペットボトルを使って遊んでいる。
- 「サタパパ広場」で評判がよいイベントは、パン食い競争など、思いっきり父親と子どもがはじけられるものである。どうしたら、父親や祖父が子どもと楽しんでもらえるか、センター職員が、楽しみながら、いろいろな情報を集めて企画している。

**Q. 子育てに参加するようになって、よかったことはありますか。**

- 「サタパパ広場」では、子どもが喜ぶ接し方を教えてくれるので、子どもがなついてくれるようになった。
- どんなことでも娘に声をかけることを心掛けていたら、娘の方からどんどん話しに来てくれるようになった。
- 休みの日はできる限り娘と一緒に外に出かけて、妻にも一人の時間を作ってあげることで、家族全体がよい雰囲気でも過ごせていると思う。
- 子育てに参加することで、家族のために仕事を頑張ろうと意欲が高まった。
- 子どもを怒る妻をみて、そんなに怒らなくてもいいのにと感じていたが、実際に子育てに参加してみると、自分も怒っていることに気付き、妻の大変さがわかった。
- 子育てに参加して、自分の親も今まで我慢してくれていたことに気付き、親に感謝するようになった。
- 孫と犬と散歩に毎日出かけているため、自分の健康が維持できていると思う。

**Q. 子育てにおいて課題になっていることをお聞きしたい。**

- 名張市立病院の小児救急が 24 時間対応になり、子どもを持っている親としては安心できるため、今後も継続していただきたい。
- 名張には高度な医療を扱う産婦人科がないため、津や四日市ばかりでなく、伊賀地域にも充実させていただきたい。
- 子ども医療費の無料化の充実など、子育て施策の充実をお願いしたい。
- 不審者が多いため、公園にカメラを取り付けるなど、治安対策を充実させてほしい。
- 日曜日にも「サタパパ広場」のようなイベントを開催してほしい。
- 子どもと父親がメインとなるイベントを増やしてほしい。
- 子育てイベントに、多くの祖父や祖母が参加できたらよいと思っている。

○センター職員として、これからも世代を超えて参加していただけるよう取り組んでいきたい。

### 【知事の発言】

○高度な医療については、集中投資などの観点から、周産期母子医療センターとして三重中央医療センターなどに集中させているが、どこまで地域の産科の力を借りるかなどをトータルで考えて、皆さんの安心感を作っていけるよう頑張っていきたい。

○子ども医療費については、県でも各市町で小学校6年生まで無料化できるよう取り組んでいるため、子育て施策の充実を市と協力してしっかりやっていきたい。

○県内の刑法犯認知件数は、全体的に毎年下がってきているが、子どもや女性に対する声掛け、ストーカー、DVなどは過去最高になってきている。これら身近な脅威に関して重点的に来年度から取り組んでいくよう検討をしている。

○県内には、自然体験など、子どもと身近で遊べる場所がたくさんあるため、情報提供やイベント開催など、皆さんに知ってもらえるよう努力していきたい。

○子育てイベントは、対象者を母親と子どもに限定しているわけではないので、父親と子どもだけでも参加しやすい、世の中の空気を作っていくことが大事だと思う。

○祖父や祖母の方は、先駆者がいる方が参加しやすいと思うので、今参加していただいている祖父の方は、引き続き積極的に参加していただきたい。

○家族のあり方、親子のあり方、夫婦のあり方はそれぞれ違うため、それぞれにきめ細かく対応していくことが大事であり、その積み重ねが幸福感を高めるということを皆さんと一緒に勉強させていただいた。



「サタパパ広場」は、日頃、子どもと遊ぶ時間をとれない、どう触れ合ったらいいか悩んでいる父親（祖父）のために、名張市子ども支援センターかがやきで開催している、父親（祖父）子育て広場です。